

関東昆虫学研究会 第 7 回大会プログラム

日時 2023 年 12 月 16 日(土) 12:50～17:25

会場 Zoom によるオンライン開催

*URL は別途お知らせいたします

大会次第

12:50～12:55 開会 大会長 小野正人

12:55～13:00 大会進行の説明と諸注意 大会事務局 原野健一

13:00～17:00 一般講演

1. オオスズメバチに対する防御行動としてニホンミツバチが巣門に塗布する物質の解析
○住宮義隆(玉川大・院・農)・佐々木哲彦(玉川大・ミツバチ科学)
2. キアシナガバチにおける捕食者オオスズメバチの認識要因
○石川直史(玉川大・院・農)・久保良平(玉川大・ミツバチ科学)・小野正人(玉川大・院・農)
3. アシナガバチにおける警報フェロモンと攻撃性が変化する要因の調査
○深川伸太郎(玉川大・院・農)・久保良平(玉川大・ミツバチ科学)・小野正人(玉川大・院・農)
4. キアシナガバチのコロニー内で認められる成虫間における肉ダンゴ授受行動
○柴田雅也・小野正人(玉川大・院・昆虫)
5. 奄美大島で採集されたタテナシウメマツアリの社会構造
○佐藤亮太・宮崎智史(玉川大・農)
6. ツツハナバチの交尾行動:メスの受け入れ条件
原野健一(玉川大・ミツバチ科学)
7. カミキリモドキ類の種間交雑によるメスの内部生殖器内での不都合
○橋本晃生(杏林大・DS セ)・菅原弘貴(都立大・理)・林文男(都立大・理)
8. 皇居における大型コガネムシ類の発生状況について(2023 年度経過報告)
○金子直樹(自然環境研究センター)・野村周平(国立科博)・大島千幸(進化生物学研究所)・柿添翔太郎(国立科博・標本資料セ)・樽宗一郎(千葉中央博)・内海幸弘(国立科博・学習課)

(休憩 15 分)

9. 日本産ヒメカマキリ属の分類学的研究
土屋昂靖(東京農大・昆虫)
10. ハラビロカマキリにおける 7 齢型成虫の幼虫形態と発育期間
田口綾乃(東京農大・昆虫)
11. ツマジロクサヨトウの成育と行動におよぼす飼育密度の影響
菊田颯人(東京農大・国際食料情報)
12. コクヌストモドキに対するタイムおよびレモングラス精油の忌避効果
渡邊莉帆(東京農大・国際食料情報)
13. クロマルハナバチ雌における脳内ドーパミン系のカースト差の形成過程
○小沼貴文・佐々木謙(玉川大・院・農)

14. セイヨウミツバチワーカーにおける栄養摂取による毒液アミン量の影響

○濱野元晴・佐々木謙(玉川大・院・農)

15. クロマルハナバチのワーカーの分業と脳内アミンの関連性

○菅原良永・佐々木謙(玉川大・院・農)

17:00～17:15 総会

17:20～17:25 閉会 研究会会長 原野健一

○講演につづいて、質疑の時間を設けます。質問等がある方は Zoom の「参加者」ボタン内にある「手を挙げる」ボタンを押してください。

○講演キャンセル等があった場合、その後の講演を繰り上げて進行する場合がございます。

○本大会の一般講演などの録音、録画及び画面の撮影(動画とスチル写真も含む)は禁止いたします。

講演をされる方へ

○講演 12 分間、 質疑応答 3 分間の計 15 分です。

○発表の順番になりましたら、Zoom でパワーポイントのスライドショー等を画面共有し、座長の合図で発表をはじめてください。

○不明な点等は大会事務局にお問い合わせ下さい。

大会事務局 原野健一 Email: kharano@lab.tamagawa.ac.jp

【参加者名簿は当日配布いたします】